



タンパク質 / 酵素
タンパク質発現 作製受託

Cry-tag を用いたタンパク質産生受託サービス

目的遺伝子を Cry-tag との融合タンパク質として、*E. coli* で発現させる受託サービスです。本発現法を用いると、活性を保持した目的タンパク質を容易かつ大量に回収することが可能です。

※本技術は岡山大学工学部遺伝子機能設計学研究室との共同研究によるものです。

MEMO Cry-tag について

グラム陽性土壌細菌 *Bacillus thuringiensis* は、孢子形成期に細胞内に巨大なタンパク質凝集体(タンパク質結晶)を形成/蓄積します(図1参照)。本発現法では、このタンパク質結晶に含まれる Cry 殺虫タンパク質の結晶形成に関与する領域をタグとして用いています(特願2008-199166)。

Cry-tag 融合タンパク質は、*E. coli* の菌体内でもタンパク質結晶を形成し、通常よりも効率的に大量発現/蓄積が可能です(図2参照)。

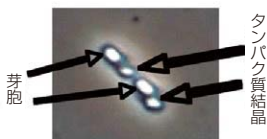


図1 *B. thuringiensis* subsp. sotto T84AI が産生する芽胞とタンパク質結晶



図2 Cry-tag を付加した融合タンパク質は、*E. coli* を宿主とした場合にもタンパク質結晶形成により大量に発現/蓄積する

特長

- ◆ 封入体を形成することなく、安定した状態で不溶性タンパク質(タンパク質結晶)の回収が行えます。
- ◆ 細胞破碎後に結晶様を遠心分離等により単離し、アルカリ性バッファー中でインキュベートすることで融合タンパク質は可溶化するので、活性を保持した目的タンパク質を容易に回収することが可能です。
- ◆ 宿主への細胞毒性を有するために発現が困難なタンパク質の産生に、特に有用です。
- ◆ タグと目的タンパク質の間にプロテアーゼ認識配列を組み込むことにより、プロテアーゼ処理によるタグの除去も可能です。

ご注文方法

※詳細は当社受託・特注品業務担当(欄外参照)までお問い合わせ下さい。

フナコシ

組織
動物臓器

新鮮な組織を迅速にお届けいたします

研究用動物臓器

マウス、ラットなどの新鮮な研究用臓器をお届けいたします。

※本製品は研究用です。医薬品、診断用医薬品、食用等の用途には使用できません。

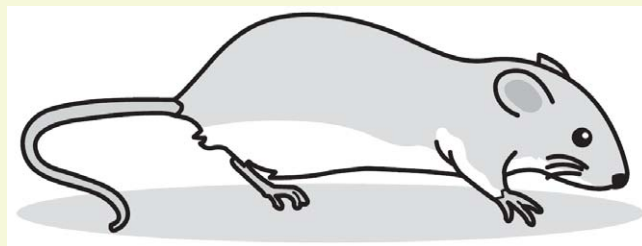
特長

- ◆ マウスやラットなどの小動物の臓器は、研究用に飼育された動物から摘出します。
- ◆ ご注文時に保存条件(4℃または-20℃)をご指定下さい。またいずれの臓器も摘出後、急速凍結処理、ドライアイス梱包(-80℃保存)での発送が可能です。

入手可能な臓器の例

	マウス	ラット		マウス	ラット
Bladder	—	●	Ovary	●	●
Brain	●	●	Pancreas	●	●
Epididymis	●	●	Pituitary	—	●
Esophagus	●	●	Prostate	—	●
Eyeball	●	●	Sciatic Nerve	—	●
Frontal Lobe	—	●	Spinal Cord	—	●
Gut	●	●	Spleen	●	●
Heart	●	●	Stomach	●	●
Hypothalamus	—	●	Tail	●	●
Kidney	●	●	Testis	●	●
Liver	●	●	Thyroid Gland	●	●
Lower Jaw	●	●	Trachea	●	●
Lung	●	●	Uterus	●	●

※掲載製品以外の臓器や動物の各種臓器を取りそろえています。また、特注品、バルク(大量)供給も可能です。別途お見積もりいたしますので、詳細は当社受託・特注品業務担当(欄外参照)までお問い合わせ下さい。



フナコシ

好評配布中!!

フナコシニュース専用バインダー

※ほぼ1年分のフナコシニュースを綴じることが出来ます。

※ご希望の方は、フナコシホームページ(<http://www.funakoshi.co.jp/>)のオンライン請求か、当社営業担当(Fax 03-5684-1634)までお申し込み下さい。

